

1 「学校いじめ防止基本方針」の策定

(1) 目的

いじめは、生徒の心と体を深く傷つけて健全な成長を阻害するもので、重大な人権侵害行為であるとの認識のもと、すべての生徒たちが安心して学校生活を送り、ともに学び合う環境を学校全体でつくっていくことが求められる。

地域・家庭・学校は連携しながら、生徒の居場所づくりや仲間づくりに努めるとともに、いじめの未然防止と早期解消に取り組まなくてはならない。

本方針は、子供の尊厳を保持する目的のもと、いじめ防止対策推進法（平成25年法律第71号）第13条に基づき、本校のいじめ防止等の取組の基本的な方向性や取組内容を策定するものである。

(2) 基本理念

《いじめ防止のための基本的な方向》

1. 「いじめは絶対に許されない」・「いじめは卑怯な行為である」・「いじめはどの生徒にも、どの学級・部活動等でも起こりうる」ことを十分に認識して、教職員をはじめすべての関係者が連携していじめの未然防止とその解消にあたる。

《早期発見・早期対応》

2. 日頃から生徒が発する危険信号を見逃さないようにして、いじめの早期発見に努める。また、各種の調査やいじめについてのアンケートを実施するとともに、保護者面談や教育相談等を通して生徒の悩みや保護者の不安を積極的に受けとめる。

《いじめを許さない学校づくり》

3. 「いじめは決して許されないことである」という意識を、すべての教育活動を通して生徒ひとりひとりに徹底する。また、自己有用感を高めるための取組を積極的に実施する。さらに、情報モラル教育の充実に努めるとともに、京都嵯峨学園内の連携を深め、継続的な指導と個に応じた支援を充実させる。

《地域・家庭・学校と連携した取組と京都嵯峨学園の活用》

4. 地域をあげて子どもを守り育てるために、家庭や学校、京都嵯峨学園運営協議会や地域生徒指導連絡協議会を中心とした諸団体、さらに関係機関が連携し情報交換の行動連携に努める。

《学校の役割》

5. いじめの問題の解決にむけて、いじめ対策委員会の充実をはかるとともに、上記の1～4が機能しているかを定期的に点検し、その評価をもとに、より実効性のある取組を実施していく。

2 学校におけるいじめの防止等の対策のための組織

(1) いじめ対策委員会の設置

ア 委員会名

いじめ・不登校対策会議

イ 構成員（職名又は校務分掌）

学校長・教頭・副教頭・生徒指導部長・いじめ対策係・養護・各学年主任・スクールカウンセラー

ウ 開催時期

*会議の回数・実施時期については、後述の「年間計画」に記載

エ 委員会として取組内容

- ・学校基本方針に基づく取組の実施
- ・教職員の「いじめ」についての共通理解と意識啓発
- ・未然防止の取組の推進
- ・教育相談や個人懇談での相談の集約
- ・いじめについてのアンケートの実施，集約
- ・児童や保護者，地域に対する情報収集と情報発信
- ・発見されたいじめ事案への対応
- ・重大事案への対応
- ・年間取組の予定の立案と反省にもとづく見直し

(2) 教職員の資質向上（校内研修）

ア 基本的な考え方

- ・生徒指導体制の見直し
- ・未然防止対策の徹底
- ・報告，連絡，相談の連携と即行動できる教職員体制と見直し
- ・生徒，保護者が相談しやすい雰囲気づくり
- ・教職員研修の実施と一人一人のいじめに対する意識向上の対策
- ・研修会，検討会の開催（より確かな人権感覚を磨く）

イ 研修の時期・内容等

- ・定期的な「いじめ対策委員会」「生徒指導対策委員会」の実施
- ・組織的な動き

3 基本的施策

(1) 学校におけるいじめの未然防止

ア 授業改善

- ・すべての生徒がわかる喜びと学ぶ楽しさを実感できる授業への改善
- ・学習における約束，ルールづくり
- ・コミュニケーション能力の育成
- ・学ぶ集団づくりと社会適応力向上についての指導

イ 道徳教育

- ・毎日の生活の中で必要な人間関係や，よりよい生活を学べる環境づくり
- ・「いじめは絶対に許されない」・「いじめは卑怯な行為である」・「いじめはどの生徒にも，どの学級・部活動等でも起こりうる」などを具体的に取り上げた道徳の学習の実施
- ・地域性を利用した活動とそこ内在する「命の大切さ」「思いやりと友情」を気付かせる学習の実施

ウ 体験活動

- ・学校行事を通じた人間関係づくり
- ・地域の活動を通じた人間関係づくり
- ・部活動を通じた人間関係づくり
- ・学活や総合的な学習の時間を通して自他の生命を尊重する活動の推進

エ 児童生徒が自主的に行う活動

- ・「いじめは絶対に許されない」という環境づくり
- ・「いじめは卑怯な行為である」という心の育成
- ・いじめ防止活動，スローガンの作成，ポスターの作成
- ・縦割り活動におけるピアサポート体制づくり
- ・生徒会活動，委員会活動，学級活動，部活動での望ましい人間関係の育成
- ・協力して問題解決できる力の育成

オ 児童生徒へのはたらきかけ

- ・学級通信，学年通信，嵯峨中魂において，啓発記事の作成と発信
- ・非行防止教室の実施，指導

カ 保護者の啓発

- ・学校説明会での発信
- ・保護者参観日での発信
- ・オープンキャンパスの実施
- ・P T Aの集会等での発信

キ その他

- ・いじめについてのアンケートの集約とそこからの結果・分析の実施

(2) いじめの早期発見のための措置

ア 情報の集約と情報の共有

- ・素早く情報を察知できる教職員の体制づくり
- ・学年会，補導部会における情報交換
- ・保護者との窓口としての担任の意識付け
- ・生徒と担任，教科担任とが話せる環境づくり
- ・Q-U，クラスマネジメント，いじめについてのアンケートの利用

イ 児童生徒に対する定期的な調査

(ア) アンケートの実施

- ・教育相談アンケート
- ・クラスアンケート
- ・Q-U調査
- ・クラスマネジメント
- ・いじめについてのアンケート

(イ) 教育相談の実施

- ・年に2回の教育相談の実施
- ・教育相談の事前アンケートの作成，実施
- ・S Cとの連携，ケース会議の定期的な開催

ウ その他

- ・登校，休み時間，掃除時間，部活時間，下校時間など見逃さない教職員体制の確立と徹底

4 いじめが起こったときの措置

(1) 基本的な考え方

「いじめは決して許されないことである」という意識を、学校教育全体を通して、生徒一人ひとりに徹底する。そして被害生徒最優先に考えた対応をする。また、加害生徒には責任ある指導を実施していく。

(2) いじめが発覚したときの対応

- ・丁寧な聞き取り，正確な事実確認，5W1Hの記録そして何よりも速やかな対応
- ・組織的対応（担任を一人にさせない）
- ・被害生徒の保護（最優先に考える）
- ・被害生徒，加害生徒の保護者との連携
- ・加害生徒への責任ある指導
- ・集団生活を見据えた指導を学級，学年，部活動とあらゆる場面で行えるようにする。

(3) ネットを通じて行われるいじめへの対応

- ・情報モラル指導の強化
- ・SNS内でのいじめ等の問題行動の理解
- ・SNS内でのいじめ等の問題行動の対応の研修の実施
- ・親の責任として家庭での指導を発信
- ・学校運営委員会やPTAの会合，地生連等での発信と啓発

5 重大事態への対処

(1) 基本的な考え方

- ・京都市教育委員会や関係機関への正確かつ速やかな連絡・連携，対応の協議に努める。
- ・個人情報漏れがないように細心の注意を払う。
- ・被害生徒の保護を最優先に考える。

(2) 重大事態が発覚したときの対応

- ・京都市教育委員会への報告と相談を行う。また，協議することで方向性を決める。
- ・学校主導で行う場合，調査組織をつくり，事実関係を明確に調査し記録する。
- ・被害生徒，保護者に対して必要に応じた情報提供をする。
- ・調査結果をしっかりと踏まえ，適切かつ必要な処置をする。
- ・京都市委員会，関係機関に調査結果を連絡する。
- ・同種の事態発生の防止の取組を推進する。
- ・京都市教育委員会主導で行う場合，指示のもと資料の提出，調査の協力をする。

6 関係機関との連携

ア 地域・家庭との連携の推進に向けて

- ・学校運営委員会，地生連，PTAと定期的に連絡会をもつ。

イ 関係機関との連携の推進に向けて

- ・児童相談所，警察，教育委員会（生徒指導課）と定期的に連絡会をもつ。

7 年間計画（予定）

いじめの防止等のための取組を下表のスケジュールにより実施する。ただし、年度途中で計画の見直しを行う場合がある。

月	対策会議や校内研修等	未然防止に向けた取組や行事等	アンケートの実施や教育相談週間等	保護者への啓発等
4	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会 不登校対策委員会 生徒指導対策委員会 学級経営に対する研修会 	<ul style="list-style-type: none"> 非行防止教室 		
5	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会 不登校対策委員会 生徒指導対策委員会 人権教育方針研修会 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭訪問 嵯峨祭 	<ul style="list-style-type: none"> Q-U調査の実施 教育相談 	
6	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会 不登校対策委員会 生徒指導対策委員会 京都嵯峨学園運営協議会 人権学活についての研修 障害の特性と支援について Q-U式学級集団づくりについて 	<ul style="list-style-type: none"> 地生連総会 前期人権学活 校内研究授業 生徒総会 		<ul style="list-style-type: none"> 地生連総会 休日参観
7	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会 不登校対策委員会 生徒指導対策委員会 学級懇談会 支援を必要にする生徒についての研修 K13法による研修 	<ul style="list-style-type: none"> 地生連役員会 非行防止教室 合唱コンクール 	<ul style="list-style-type: none"> いじめについてのアンケートの実施 クラスマネジメント調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者懇談会の実施 オープンキャンパス
8	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会 不登校対策委員会 生徒指導対策委員会 京都嵯峨学園の夏季教職員研修会の実施 生徒指導に関する情報支援 情報モラル ESDの意識と必要性 	<ul style="list-style-type: none"> 夏季集中講座 夏季小中合同研修会 校内研修 	<ul style="list-style-type: none"> K13法による研修 	
9	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会 不登校対策委員会 生徒指導対策委員会 	<ul style="list-style-type: none"> 右京支部研修 体育大会（応援合戦） 	<ul style="list-style-type: none"> K13法による研修 	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観
10	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会 不登校対策委員会 生徒指導対策委員会 	<ul style="list-style-type: none"> スクールカウンセラーによる研修 嵯峨中パレード 嵯峨中フェスタ 		<ul style="list-style-type: none"> 3年生保護者懇談会の実施
11	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会 不登校対策委員会 生徒指導対策委員会 後期人権学活について 	<ul style="list-style-type: none"> 後期人権学活 愛宕登山競争 生徒会本部役員選挙 校内研究授業 中高連携授業 	<ul style="list-style-type: none"> 教育相談 Q-U調査の実施 	
12	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会 不登校対策委員会 生徒指導対策委員会 	<ul style="list-style-type: none"> 地生連役員会 薬物乱用防止教室 	<ul style="list-style-type: none"> K13法による事後研修 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者懇談会の実施
1	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会 不登校対策委員会 生徒指導対策委員会 			
2	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会 不登校対策委員会 生徒指導対策委員会 京都嵯峨学園運営協議会 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止基本方針等の検証 科学センター学習 	<ul style="list-style-type: none"> いじめについてのアンケートの実施 クラスマネジメント調査の実施 	
3	<ul style="list-style-type: none"> いじめ対策委員会 不登校対策委員会 生徒指導対策委員会 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止についての年間反省 次年度の年間計画の作成と申し送り事項 三年生を送る会 		

※ 年間計画では以下の事項の回数・実施時期などを考慮する。

- 「いじめについてのアンケート」
- 「いじめの防止等の対策のための組織の会議」, 「いじめの防止等の対策」
- 「校内研修」
- 「未然防止の取組」
- 「個別面談」
- 「教育相談」
- Q-U調査
- クラスマネジメント調査

